



内膳町

自治会通信

《第3号》

自治会広報係
発行責任者 堀本 文男
平成22年6月発行

立体駐車・駐輪場

厳粛に竣工式

厳かに神事

5氏によりテープカット

森下市長祝辞

堀本会長挨拶



◆本年一月末に完成し、地縁団体内膳町自治会に引き渡されている「駐車・駐輪場」の竣工式を、四月二十二日（木）に行いました。

◆式典に先立ち、午前九時から自治会役員および自治委員参列のもと、内膳春日神社・森澤宮司により式次第に則り神事が執り行われました。続いて、堀本地縁団体内膳町自治会長、森下檀原市長、杉井市議会議員、奥田（英）市議会議員、中井檀原市自治委員連合会長の五氏によつてテープカットがされました。

◆午前十時からの竣工式には、各方面からの来賓五十五名と、主催者側三十四名が出席。主催者を代表して堀本会長が式

◆次に、竣工を迎えるにあたり多大なご協力を頂いた、小西建築事務所代表・小西皓司氏（設計担当）と、かとう建設株式会社代表取締役社長・嘉藤良道氏（施設の施工担当）に、堀本会長より感謝状と記念品を贈呈致しました。

◆来賓を代表して初めに、檀原市長・森下豊様より別掲の祝辞を、また、自治会の相談役でもある地元市議会議員・杉井康夫様からは、「素晴らしい駐車場が出来ました。今後は、檀原市の街角駐車場として多くの方に利用され、南

辞（別掲）を述べ、そして、自治会財産管理部会・梅村部会長が駐車場建設の立案から今日に至るまでの経過、ならびに概況について説明をしました。

◆森下市長祝辞

駐車場の完成をお喜び申しあげるとともに、内膳町の皆様に心より感謝を申し上げます。これから、内膳町と市が今まで以上に協力して、この素晴らしい施設を活かして、素晴らしい施設を思っています。2013年には近鉄と相互乗り入れした、阪神あるいは山陽電鉄が、特急を伊勢までという計画が進んでいると聞きます。八木駅はますます重要度が増します。その大事な駅の玄関口としてこの施設を、多くの皆さんに利用して頂くように一緒に力を合わせていきましよう。

和の中心的な建物になることを見守っていきます」と、それぞれ前途に期待を込めた祝福の言葉を頂きました。

◆その後、祝電の披露を行い式典は終了。皆様の協力のもと、無事、竣工式を終えることが出来ました。

◆この後、時間のある方には、建物を見学して頂きました。

◆主な出席者

檀原市長・森下豊、檀原市議会議員・十四名、中和広域消防組合、消防本部消防長・高橋善康、檀原警察署 地域課長・植平勝彦、かとう建設（株）代表取締役社長・嘉藤良道、小西建築事務所 代表・小西皓司

堀本自治会長挨拶

八木駅南側の開発構想の経緯の一つとして、前市長時代に駐輪・駐車場建設の要請を受け、自治会として真剣に受け止め、建立に至りました。昨年十一月完成予定のところ、一部の設計変更により、一月末になりました。街の充実を図るという点については、特に駐車場なくしてバランスのとれた街の発展は考えられません。この八木駅南側の駐輪・駐車場こそ発展の礎となるものと高く自負しています。近隣地元及び関係の方々には、一年有余の工事期間中のご協力ありがとうございました。

平成二十二年防炎会総会

内膳町自主防災会の平成二十二年総会が、四月二十四日（土）に内膳町一すみれホールで開催されました。会を代表して挨拶に立った上田剛氏は「本年一月に発足したばかりで、よちよち歩きの状態ですが、防災の基本理念である『助け合い』を念頭に、一步一步前進していきたい」と抱負を述べました。

総会は、淵田昌彦氏が議長に選出され、同氏の司会で進行。実績報告、予算、実算などの提出議案がすべて承認、約一時間で終了しました。

尚、今年度の役員には、会が発足して三カ月と日も浅く組織固めの重要な年度でもあることから、前期の役員が全員留任することが承認されました。

地震の発生を防ぐことはできません。しかし、自主防災を徹底することはにより被害を少なくすることはできます。救出者の98パーセントが近隣住民の協力によるものであった。という阪神・淡路大震災の教訓がそれを物語っています。我々の住む町も高齢化が進んでいます。いざという時に介助を必要とする人がおられます。

自主防災組織を充実させて行くことによつて、安心して住める町をつくり上げていきたいものです。

